山陰道「朝山・大田道路」が今年度開通予定

早期全線開通が待たれる山陰道は、鳥取・島根・山口三県の日本海沿岸を結ぶ重要な高速道路ネットワークです。島根県内の供用率は約59%と、つながることで利便性も徐々に向上していますが、出雲以西では部分的な開通に留まっている現状です。

大田市内で既に開通している「仁摩・温泉津道路(11.8km)」では、国道９号も含めた開通区間全体で、交通事故の減少、通行止めの時間が短縮されるなど効果が現れています。

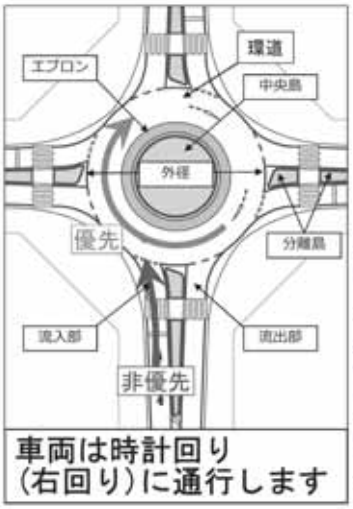
そのような中、今年度には「朝山・大田道路(6.3km)」、平成30年度には「多伎・朝山道路(9.0km)」の開通が予定されています。

この区間の国道９号は、急カーブが連続し、交通事故の多発する県内でも有数の交通の難所となっており、山陰道の開通により急カーブや急勾配を回避することで交通事故の削減だけでなく、通行止め時の代替路の確保、輸送や移動時間が短縮され、地域間交流の活発化、地域経済の活性化が期待されます。

また、国土交通省では近年大きな社会問題となっている高速道路の逆走などを踏まえ、より安全なインターチェンジを目指して、朝山インターチェンジ(仮称) に環状交差点(ラウンドアバウト) を県内で初めて導入することとされました。環状交差点が連続する形は全国初となります。

そのほか市内では、「大田・静間道路(5.0km)」、「静間・仁摩道路(7.9km)」、「福光・浅利道路(6.5km)」で、県内では「出雲・湖陵道路(4.4km)」、「湖陵・多伎道路(4.5km)」、「三隅・益田道路(15.4km)」で着々と整備が進められております。

高速道路はつながってこそ、その効果が最大限発揮できるインフラで、その整備は、地域格差の是正や安心、安全の地域づくりへとつながります。大田市では山陰道の1日も早い全線開通を目指し、引き続き関係機関と連携を図りながら国などに強く要望を行っていきます。



環状交差点

朝山インターチェンジ(仮称)イメージ図

【お問い合わせ先】大田市役所事業推進課　☎0854-83-8167